

盗難について

桃谷 咲衣

わたしは盗難というテーマを選んだ理由は実際に盗難にあつたことがあるからです。少し前に父の自転車が盗まれました。夜だつたという事で、わたしの家に防犯カメラがなかったという事もあり、だれが盗んだのかはわかりませんでした。見つかるまでに時間がかかつたしいい気持ちがいなかつたので、たくさん調べたくてこのテーマにしました。

野田市は、盗難事件が比較的多く発生しています。特に自転車の盗難に注意が必要で、高級車が狙われるケースもあります。しかし、そのように自転車などが盗まれないようにする方法はたくさんあります。

まず、複数のかぎを使用することです。シ字ロック、チェーンロックなど、異なる種類のかぎを二つ以上使用することで、窃盗犯がかぎをこわすのに時間がかかるようになるため、盗難のリスクをへらすことができます。

次に、適切な場所に駐輪することです。人通りの少ない場所や人目に付きにくい場所とはけて、人通りが多い場所やかんしカメラのある場所に駐輪するように心がけるとよいです。また、あずかな時間だ、たり自宅の敷地内だったりしても、油だんせず必ずかぎをかけることも大切です。

これらの対策を組み合わせて、自転車の盗難リスクを大幅にへらすことができます。

そもそも、なぜ自転車は盗まれやすいのでしょうか。自転車の盗難が多い理由として、自転車が手軽な移動手段であること、かぎがこわれやすいというところ、そして盗んだ自転車は転売したり乗りすてたりされやすいというところが挙げられます。

だから、防犯グッズなどを買って、自転車の盗難対策をしましょう。例えば野田市では、防犯カメラ、センサーライト、防犯ガラスなど、住宅に取り付ける防犯グッズのこう入会の

半がム（上限二万円）が助成されるそうです。
わたしは、盗難をへらすためには、自転車にかぎをし、かりかける、人目に付かない場所にはとめない、防犯グッズを買うなどの対策をすることか、盗難をへらすための第一歩となることばかりでした。

自転車の盗難件数は、令和四年（二〇二二年）に十二万八千八百八十三件で、前年度よりも約一万件以上の増加となりました。盗難被害にあつた自転車の多くは、かぎがかけら

れていない状態だったそうです。特に共同住宅、マンションやアパートの駐輪場での盗難が多くありました。

令和五年（二〇二三年）は、約十六万四千百八十件自転車の盗難が発生しました。

これは一日に約四百五十台の自転車が盗まれた計算になります。

また、盗まれた自転車が見つかる確率は非常に低く、一般的に二割程度と言われており、特にスポーツ自転車の場合はその可能性がさ

うに低いそうです。

わたしは、今回自転車の盗難についてたくさん
さんのことを知って、今後自転車の盗難にあ
わないために、しっかり対策をしようと思い
ました。そして、自転車の盗難がへって、安
全安心な野田市になればいいなと思います。